

令和7年度 健康福祉サービス自己評価実施状況報告書

令和 8 年 4 月 3 日

大津市健康福祉部福祉指導監査課長 あて

(事業所名) 放課後等デイサービスぐんぐん
(所在地) 大津市瀬田三丁目3-36
(担当者名) 管理者 細見大輔

健康福祉サービス自己評価を、「本県における健康福祉サービス評価システムの推進について」により実施しましたので、下記のとおり報告します。

記

1 施設・事業所の名称

放課後等デイサービスぐんぐん

2 評価基準およびサービスの種別（該当の記号に○印を付し、サービスの種別を記入）

○評価基準

ア 障害福祉サービス共通評価基準①〔障害者／施設、グループホーム〕
(種別：)

イ 障害福祉サービス共通評価基準②〔障害者（児）／在宅〕
(種別：)

ウ 放課後等デイサービス自己評価表

エ 児童発達支援自己評価表

オ 保育所訪問支援自己評価表

※種 別（記入例：就労継続支援B型）

3 自己評価の実施時期（自己評価結果をとりまとめた時期）

令和 8 年 3 月

4 県のホームページで、自己評価を実施した施設・事業所の名称、所在地、実施時期、事業所での評価結果の公表の有無を情報提供することについて

提供してもよい ・ 提供しないでほしい

5 自己評価結果の公表の有無 (該当するところを○で囲む)

- | | | | |
|-----------------|----|---|-----|
| ① 大津市への送付 | した | ・ | しない |
| ② ホームページ掲載 | した | ・ | しない |
| ③ 施設・事業所内での閲覧提供 | した | ・ | しない |
| ④ 利用者・家族へ送付 | した | ・ | しない |
| ⑤ その他の方法での公表 | | | |

(具体的に：)

6 サービス改善計画の公表の有無 (該当するところを○で囲み、括弧内に記入)

- | | | | |
|-----------------|----|---|-----|
| ① 大津市への送付 | した | ・ | しない |
| ② ホームページ掲載 | した | ・ | しない |
| ③ 施設・事業所内での閲覧提供 | した | ・ | しない |
| ④ 利用者・家族へ送付 | した | ・ | しない |
| ⑤ その他の方法での公表 | | | |

(具体的に：)

7 自己評価を実施して感じたこと、評価基準・ガイドライン等への意見やサービス評価について今後望むこと

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービスぐっどらいふ		
○保護者評価実施期間	令和 7年 4月 1日		～ 令和 8年 3月 13日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	28	(回答者数) 17
○従業者評価実施期間	令和 7年 4月 1日		～ 令和 8年 3月 13日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4	(回答者数) 4
○事業者向け自己評価表作成日	令和 8年 3月 16日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	<ul style="list-style-type: none"> ・会議や話し合いの機会を多く持つようにしている。 ・毎月の振り返り会議の実施。 	<ul style="list-style-type: none"> ・月の月間予定として会議や振り返り等の業務を取り決めている。 ・毎日、支援前と支援後の1日2回、パート職員も含めた会議を実施している。 ・支援前に各日の利用児童の記録・アセスメントを確認すること 	<ul style="list-style-type: none"> ・パート職員にもアセスメント等の情報共有の強化を行い、時間がない時には共有ノートなどを用いる。 ・知識向上のための研修を年間研修に組み入れる。
2	<ul style="list-style-type: none"> ・支援会議やカンファレンスに積極的に参加している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校との申し送りを強化し、個別での話し合いが必要な場合には、電話または会議の日を設定している。 ・担当者会議には積極的に参加しており、管理者だけでなく、可能な限り他の職員も同伴で会議参加し、記録、社内会議を行っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・申し送りや会議等で上がったこと、職員間だけでなく、パート職員にも情報共有を図っていく。
3	<ul style="list-style-type: none"> ・支援後に1日の過ごしや出来事等を分かりやすく、的確に記録作成をしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・記録作成書式の記入のしやすさや記録項目等の見直しを定期的に行なっている。 ・記録作成等、日々の業務を作業として行うのではなく、目的を持ち実施している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・見直しのスケジュールを、定期的に年間を通して設定する。 ・職員、パート職員で話し合いを設ける。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	第三者委員会による評価	事業所単位での第三者委員会選定や委員の招集の難しさ。	他法人や自立支援協議会での情報提供依頼等を行う。
2	放課後児童クラブや児童館	児童クラブなどとの交流に関してはできておらず、難しさを感じている。	他法人や自立支援協議会での情報提供依頼等を行う。
3			

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 放課後等デイサービス ぐっどらいふ

公表日 年月日

利用児童数 28

回収数 17

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	13	1	0	3	・新しくなっらいふが広がった。 ・見たことがない。	・2025年7月1日より、新しい事務所へと 移転させていただき、以前に比べるとス ペースも広くなりました。お時間がござ いましたら、いつでも見学に来ていただ ければと思います。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	13	2	0	2	・見たことがない。	正社員（常勤）5名、非常勤常務1名 現状のぐっどらいふ所属スタッフです。 専門性に関しては、日々研鑽する必要が あると感じ、外部研修や社内研修の積極 的な開催及び参加をしていきたいと考 えております。 今年度も引き続き経験や知識の向上に努 め、支援がより良いものとなるように努 めていきたいと考えております。
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっていると思 いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や 情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	12	1	1	3	・見たことがない。	・2025年7月1日より、新しい事業所へ と移転させていただきました。お時間が ございましたら、いつでも見学に来てい ただければと思います。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。 また、子ども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	16	0	0	1	・掃除も行き届いていた。 ・見たことがない。	・ありがとうございます。衛生面に関し ましては、毎日、朝と夕方に清掃させて いただいております。清潔に保てるよう努 めております。
適切 な支 援の 提供	5 子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援 が受けられていると思いますか。	16	1	0	0		
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合 っていると思いますか。	15	0	0	2	・平日の活動内容がなんとなく前もって分 かるとよい。	・ありがとうございます。長期休暇以外 の平日に関しましては、出かける予定が ある場合などには事前にご連絡させてい ただき、活動内容をお伝えさせていただ いております。
	7 子どものことを十分理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分 析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されて いると思いますか。	16	0	0	1		
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「 放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」 、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に設 定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	16	0	0	1		
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	16	1	0	0		
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思います か。	14	2	0	1	・色々考えていただいています。	・ありがとうございます。今後も子ども たちに楽しんでもらえるよう、活動計画 を考えていきたいと思ひます。
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会 がありますか。	1	2	11	3	・ない方がいい。	・お出かけの際に公園等で地域の子 どもの交流を持つ場合もあります。
	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等につ いて丁寧な説明がありましたか。	17	0	0	0		
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされま したか。	17	0	0	0	・よく面談でお話していただいています。	・ありがとうございます。今後も支 援内容について気になること等ございま したら、いつでもご相談ください。
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング 等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	4	3	8	2	・ない方がいい。	・ありがとうございます。引き続き、個 別でケース会議などを通して、学校、家 族、相談支援とも情報共有を図ってい たいと思っております。
	15 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達 の状況について共通理解ができていると思いますか。	16	0	0	1	・細かく何が合ったのか教えていただ いています。	・ありがとうございます。今後も 子どもたちの健康や発達について、共 有できるように努めてまいります。
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	16	0	0	1		

保護者への説明等	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	16	0	0	1	・将来を考えてのアドバイスもいただいています。	・ありがとうございます。今後子どもたちにより良い支援を行ってまいりたいと思いますので、気になること等ございましたら、お気軽にご相談いただけたらと思います。
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	0	1	13	3	・ない方がいい。 ・交流は希望していないので今のままで大丈夫。 ・特性によって違いがあり、各家庭で望む事が違うので支援等サポートする必要があるなら行政がすべき。	・ご意見ありがとうございます。
	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	13	0	0	4		
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	16	1	0	0		
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	8	1	0	8		・活動概要等は毎月のお便り『くまのライフ便り』に記載しております。HPに関しては『https://goodlife-goodtime.com/』となっており、支援プログラムや自己評価の結果等を記載しております。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	16	0	0	1		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	6	4	2	5		・ありがとうございます。現在LINEの運用については緊急時のみとなっております。ご不便をおかけしておりますがどうぞよろしくお願いいたします。また各種マニュアルにつきましては整備し、事業所にて掲示されております。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	9	1	0	7		・職員対象に消防訓練、救命訓練を年に1回実施するとともに、利用者対象に避難訓練を年に1回以上実施。また、長期休暇中の活動に『京都市防災センター』へ行ったり、消防署への見学なども行っております。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	12	1	0	4		・安全に関する各種マニュアルを作成しており、訓練など行った場合には情報共有させていただきます。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	14	0	0	3	・今のところ、起こった事がないので分かりません。	・ありがとうございます。今後とも事故等には細心の注意をはらっていきたく思っております。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	17	0	0	0		
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	17	0	0	0	・子どもが気に入っています。	・ありがとうございます。子どもたちが楽しみに通所できるよう、活動内容や様々な取り組みなど考えていきたいと思っております。
	29	事業所の支援に満足していますか。	16	1	0	0	・スタッフのみなさんが親切です。 ・いつもありがとうございます。 ・いつも楽しいイベントを企画していただき感謝しています。ありがとうございます。	・こちらこそいつもありがとうございます。今後も子どもたちに寄り添って、スタッフと一緒に楽しめるような環境を作っていきたいと考えています。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日			
くっどらいふ		年 月 日			
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	4		大部屋のプレイルームに加え、個室の静養室、キッチンと広く使っている。	
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	4			
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	2	2	離れた部屋からも応援を呼べるように、呼び出しボタンを設置している。	バリアフリー化は今後の課題である。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	4		クッキング活動をキッチンで行うなど、活動に合わせて空間を分けるなどの工夫をしている。	
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	4			
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	4		月に1度個別の振り返り会議を実施している。日々の支援後に振り返り会議を実施している。	
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4		半年に1回個別支援計画の更新と併せて保護者様と面談を実施している。	
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4		日々の振り返り会議、申し送りにて意見の吸い上げを行っている。	
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		4		
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内で研修を開催する機会が確保されているか。	4		定期的な法人内研修の実施。部会をはじめ、外部研修への参加を積極的にしている。	
適切な支援の提供	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	4		HPに掲載。	
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	4			
	13 放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	4		作成、更新時に個別支援会議を実施している。	
	14 放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	4			
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	4		日々の活動記録の記入を実施。	
	16 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	4			
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	4		毎月、次月の活動会議を実施。	
	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	4			

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	4			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	4		毎日職員間の申し送りを実施。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	4		毎日振り返り会議を実施。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	4		毎日活動記録の記入を実施。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	4		半年に1回個別支援計画の見直し、更新を実施。保護者様との面談を実施。	
関係機関や保護者との連携	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	4			
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	4			
	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	4			
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	4			
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	4			
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	2	2	同法人ぐっどたいむからの持ち上がり児童に関しては年度末に引継ぎ会議を実施している。	就学前児童に関してはぐっどたいむの対象とはならないため未実施。同法人ぐっどたいむでは就学前児童の利用す
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	3	1	必要に応じて実施。	移行支援会議への出席依頼が現状無い。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	3	1	ケース会議や研修等に積極的に参加。	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。		4		具体的な交流はないが、近隣の公園へ出掛けるなどしている。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	4		放課後事業所連絡会への参加。 トライアングルプロジェクトへの参加。 ヨコヨコインターン受け入れ実績有り。	
34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	4		日々の送迎時に申し送り共有を行っている。		
35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	2	2	面談時をはじめ、保護者様の相談を随時受け付けている。		
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	4		利用契約時に説明を実施。 契約内容に変更が生じた場合は必ず紙面・口頭で説明し署名をいただいている。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	4		個別支援計画に「保護者・本人の想い」として欄を作成、面談時に想いを確認している。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	4			
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	4			

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。		4		保護者様からのご要望が現在無い状態である。
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。		4		苦情受付窓口を設置している。
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。		3	1	HPの活用。 月1回お便りの発行を行っている。 緊急時(災害等)に迅速に連絡が出来るよう公式
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。		4		個人情報使用同意書を契約時に説明。 雇用契約時に個人情報の取り扱いについて説明を受け同意している。
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。		4		
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		4		
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。		4		事業所にマニュアル等を掲示している。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。		4		年1回以上の研修実施。 利用者向けに避難訓練の実施と、公共施設を利用して防災について学ぶ機会を設けている
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。		4		
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。		4		
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。		4		
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。		4		
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。		4		定期的にとりまとめを行い、振り返り会議を実施。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。		4		年1回以上、事業所として原則年2回以上の研修を実施。 外部研修への参加を積極的に行っている。
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。		4		委員会の設置及び、定期的に会議の開催を実施。 やむを得ない身体拘束が必要な場合には保護	

障害福祉サービス共通評価基準 概評 [各シート共通]

○概 評

①非該当とした項目の説明、②独自に必要なと思われる評価項目等、③項目評価を通じて気づいた点などを記入してください。

①項目『9』に関して、自立支援協議会での検討も含め事業所として更なる改善の検討を行う必要がある。

③項目『11』に関して“楽しさ”を重視しつつも利用児童の成長や発達にポイントとなる活動を設定していく。

③項目『14と15』に関して常勤職員だけでなく、パートスタッフを含めた事業所全スタッフで情報共有の強化と支援につながる知識向上を目指していく。

③項目『28』に関して学校との連携において、まずは担任との信頼関係の構築を図り、

何かあってからではなく、いつでも日頃からの連携に努める。また、場合によっては会議の日を設けたりしていきたい。

③項目『30』に関して学校卒業後の進路(障害福祉サービス事業所等)に関する保護者からの相談に対して適切なアドバイスができるようにしていきたい。また今年度同様に進路先の事業所との情報共有を図る。

③項目『46』に関して今年度も定期的な訓練を計画・実施し、防災意識の向上を図る。

サービス改善計画書

策定日：令和 8年 4月 3日

事業・サービス名：放課後等デイサービス

施設・事業所名：ぐっどらいふ

自己評価項目	評価結果	問題点・課題	改善内容と目標	時期と期間	責任者	備考 (必要な予算等)
10	○	研修内容や外部研修機会の更なる向上	事業所内研修においては、研修内容の策定及び実施を行う。外部研修に関しては、スタッフへの周知・提案を行い、積極的な参加を行っていく。	令和9年3月 末 1年間	細見	
10	○	事業所年間研修予定の充実	事業所でどんな研修が必要なのか経験等を踏まえて必要な研修を適宜行えるように年間計画に盛りこむ	令和9年3月 末 1年間	細見	